

体操・県高校新人大会

筒井君、個人総合で優勝

田辺工業 団体で6連覇

県高校体操競技新人大会は12、13日に田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパーク体育館であり、男子個人総合で田辺工業高校2年の筒井宏樹君が優勝。3月21日に金沢市で開かれる「第32回全国高校体操競技選抜大会」への出場権を得た。男子団体では田辺工業が6年連続13回目の優勝を果たした。

なのでいろんな技に挑戦したい」と意気込んでいる。

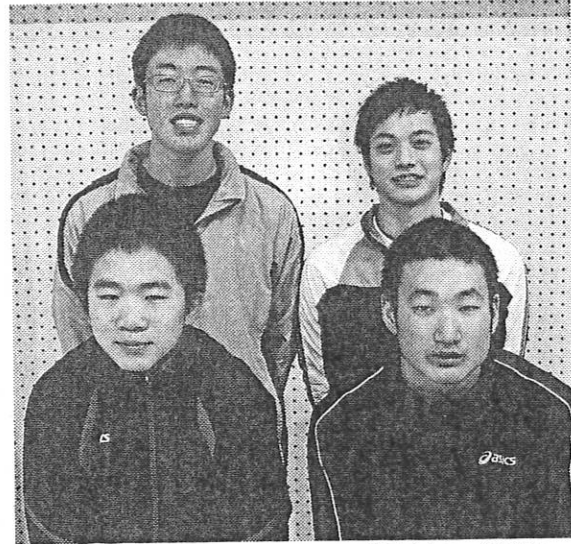
個人総合では、田辺工業から4位に山本開君(2年)、5位に木本大晴君(1年)、6位には横山秀也君(2年)がそれぞれ入った。

一方、男子団体の部には田辺工業と和歌山北が出場。両校のメンバー(4人)がそれぞれ6種目を演技し、点数を競った。田辺工業の得点は1

男子個人総合での筒井君の得点は80・050。2位に入った同校1年の高田佑貴君が79・700で競り勝った。筒井君はつり輪、跳馬、平行棒で1位。あん馬と鉄棒では2位に入る強さを見せた。「ゆかでミスを2回出してしまいました」もう思い切りやるしかない」と割り切れたと話した。今秋の「紀の国わかやま国体」少年男子チームの一員だ



筒井宏樹君



団体6連覇を決めた田辺工業高校の(前列右から)木本大晴君、中田雅貴君、(後列右から)橋本和樹君、上村周平君

96・900で、和歌山北は156・500だった。

田辺工業は2年の橋本和樹君、上村周平君と1年の木本君、中田雅貴君で臨んだ。チームリーダーで体操競技部主将でもある橋本君は「6連覇がかかっていて緊張もあったが、仲間が大きな声援を送ってくれたし、楽しく演技できた」と振り返った。4人は「声を掛け合って盛り上げよう」と試合前に話していたといい、ミスはあったものの、引きずらなかつた。